

## 「作業科学研究」誌の特集執筆依頼 詳細

### 特集の趣旨

WFOT の作業科学に関する声明文や 2016 年に改定した「作業療法士教育の最低基準 (WFOT-MSEOT2016)」では、OT の知識基盤にある OS の不可欠さについて明確にされてきています。日本作業療法士協会は OT が活動・参加レベルで役割を果たすことも重視しており、そのための作業に関する知識の教育は重要です。しかし、国内での養成校のカリキュラムにおいては「作業科学」の知識や研究を活かしている授業は多くはないのが現状と考えられます。また、作業科学研究会が主催で行った勉強会 (OS カフェ) でも、「学生に作業や作業科学についてどう教えたらいいかわからない」といった意見や悩みも挙がりました。このような国内における作業科学教育に関する課題を踏まえて、今回の特集では「作業科学に関する教育の今」と題して、実際に学生を対象に「作業・作業科学」をどのように教育しているのかに焦点を当て、実際に教育現場で作業・作業科学の教育に取り組まれている方々の経験を取り上げたいと考えています。

### 特集の内容

実際に皆さんが教育現場でどのように作業科学について学生に伝えているか、また、今の伝え方に至るまでにはどのような背景があったか、具体的な経験や教育の内容についての記載をお願いします。具体的には下記のような内容が例として挙げられます。

- ・カリキュラムへの取り組み
  - ・授業の紹介
  - ・特定の学習活動の紹介
  - ・臨床実習での教育
- など

### 原稿のフォーマット

本誌における総説、実践報告、あるいは資料のいずれかのフォーマットでの記載をお願いします。ご自身が執筆できる、執筆したい内容におうじて適当なフォーマットを選択してください。

日本作業科学研究執筆要綱：

<https://www.jstage.jst.go.jp/guide/jjos/8/14222/-char/ja/200502toukougitei.pdf>

### 投稿や問い合わせなど

作業科学研究のメールアドレス [sagyoukagaku@yahoo.co.jp](mailto:sagyoukagaku@yahoo.co.jp) です。

公開の目処：8月上旬までの投稿は、12月 (\*注意、査読による)